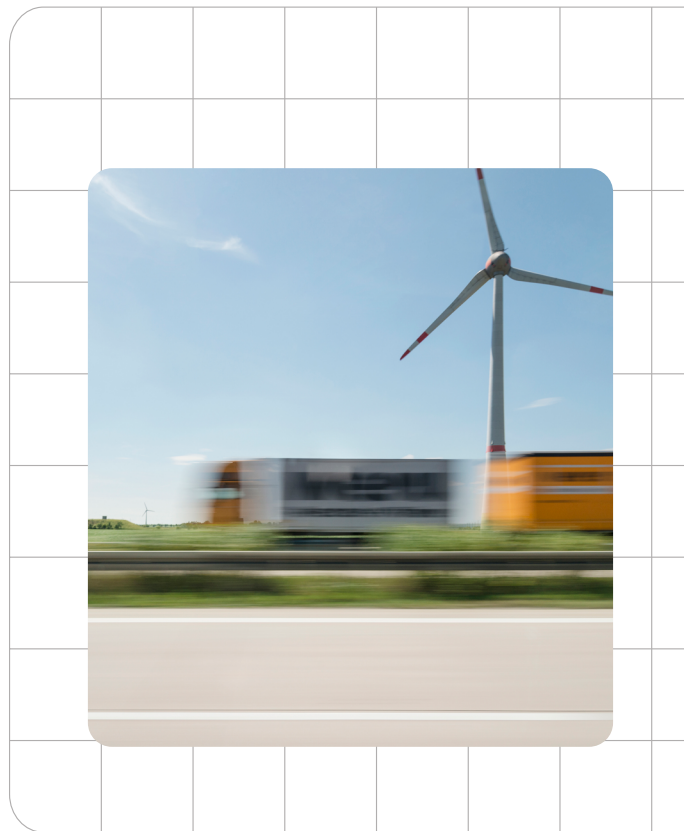


使いやすい持続可能性 レポート機能で より環境に優しい道を歩む

荷主やLSP(ロジスティクス・サービス・プロバイダ)は、サプライチェーン排出量の報告と削減をますます迫られています。多くの場合、必要な詳細な計算を行うためのツールや時間が不足しています。

project44のEmissions Monitoring(排出量モニタリング)ソリューションは、精度の高いScope 3のサプライチェーン排出量データを提供します。企業が、報告要件を満たし、持続可能性の目標を達成できるよう支援します。



ロジスティクス関連の料金やコストを削減

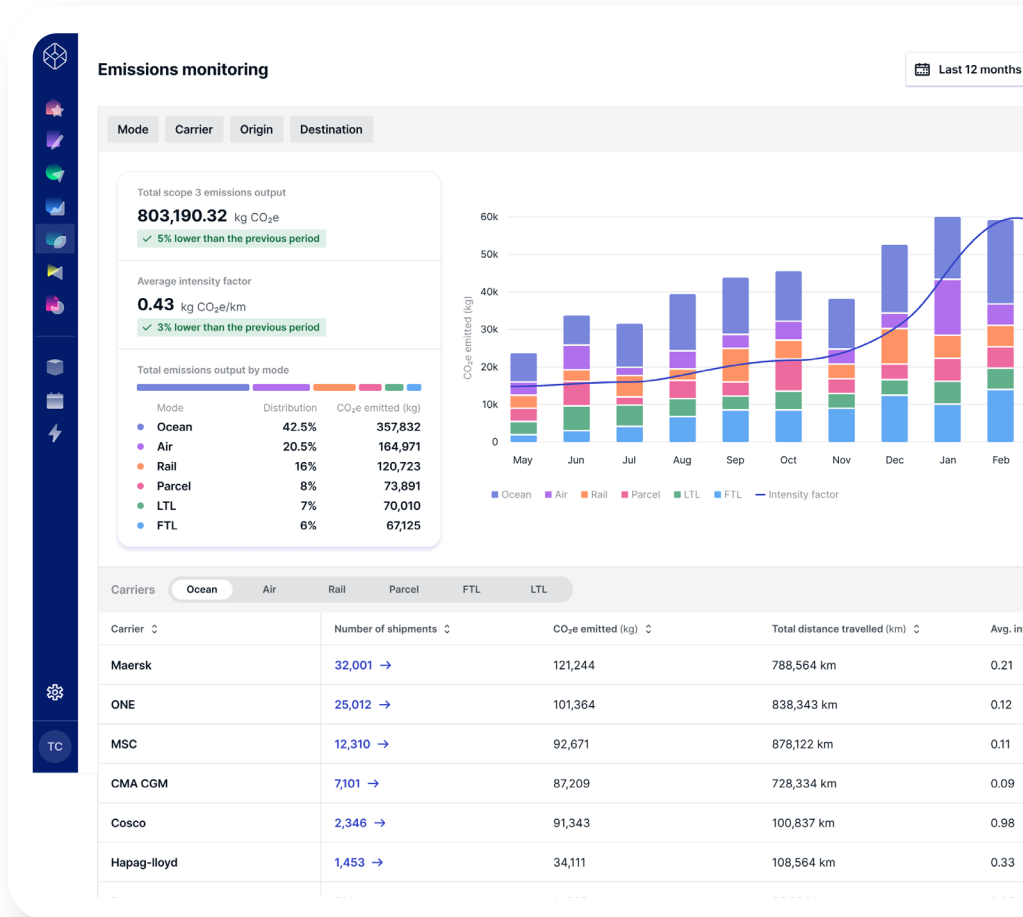
project44で可視化すれば、排出量の測定と報告が簡単になります。

排出量モニタリング特長:

複数の輸送モードやキャリアをまたいで移動する貨物を含め、世界中のあらゆる輸送モードにおける貨物の総排出量、排出原単位、移動距離に関する情報を提供します。

持続可能性に関するカスタムレポートを作成して共有できます。また、データをダウンロードして、オフラインで包括的な分析に活用することも可能です。

直感的な排出量ダッシュボードでは、全体的な傾向の把握だけでなく、輸送モード、キャリア、地域別の詳細分析情報をご覧いただけます。



なぜ持続可能性をいま優先すべきか



消費者および人材

企業の環境への影響は、特に若い消費者や労働者の購買やキャリア選択に大きな影響を与えています。



規制

パリ協定のような国際的な合意にて、2050年までにネットゼロ排出を達成するための規制や企業の取り組みを推進しています。



投資家

ますます多くの投資家が、環境・社会・ガバナンス(ESG)要素を投資判断に取り入れています。



利益と生産性

カーボンプライシングは世界的に普及しつつあり、価格も上昇しています。

Scope 3 排出量とは?

温室効果ガスプロトコル (Greenhouse Gas Protocol) は、排出量をScope 1、Scope 2、Scope 3に分類しており、それぞれ排出源が異なり、企業の責任レベルもそれぞれ異なります。

Scope 1は、所有または管理している排出源からの排出、Scope 2は電力やその他のエネルギー源からの排出、Scope 3はバリューチェーンからの排出を指します。

Scope 3は最も大きな排出源であり、管理していない資産からの排出であるため、測定や管理が最も困難ですが、project44がその対応を支援します。



project44の 持続可能性ソリューション 特長



コンプライアンスと報告を合理化

GLEC認定の排出量データと使いやすいレポート機能で、Scope 3 排出量報告要件に準拠



顧客満足度とロイヤルティを向上

ESGおよび持続可能性報告書で環境責任へのコミットメントを示すことにより、企業評価を高め、顧客維持を強化



環境への影響を最小化

貨物、キャリア、レーンレベルでの正確な過去の排出量計算データに基づき、排出量を削減するためのサプライチェーン意思決定を実現